

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

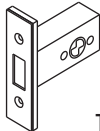
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

補助錠ケース	取付ねじ	対応部品一覧表	交換要領書
 1 個	対応部品一覧表参照	 1 枚	 1 枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー
  1 本

錠のハンドルタイプの種類

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

※この補助錠ケースにセットされているハンドルのタイプは 2 種類あります。ハンドルのタイプ別に取りはずし・取り付け要領が異なります。ハンドルのタイプを確認のうえ該当のページを参照ください。

タイプ	レバーハンドル	サムラッチハンドル・プッシュプルハンドル
外観画像	 化粧座一体タイプ 化粧座別体タイプ	   サムラッチタイプ プッシュプル化粧座一体タイプ プッシュプル化粧座別体タイプ
交換要領	取りはずし方：2 ページ 取り付け方：3 ページ	取りはずし方：4 ページ 取り付け方：5・6 ページ

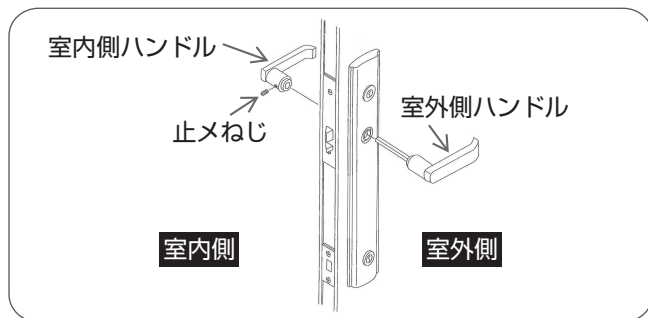
レバーハンドルタイプの取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

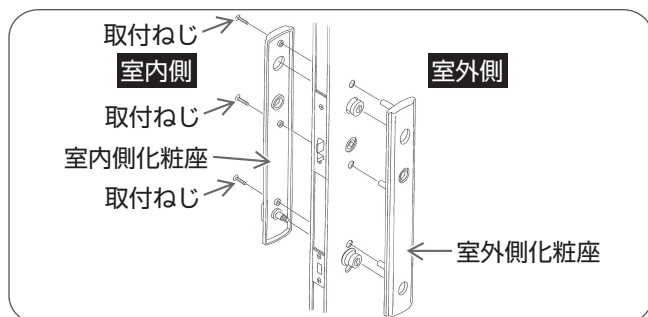
※レバーハンドルタイプは、化粧座一体タイプと別体タイプの2種類ありますが交換要領は共通です。ここでは化粧座一体タイプの図を使って説明します。

1 レバーハンドルの取りはずし



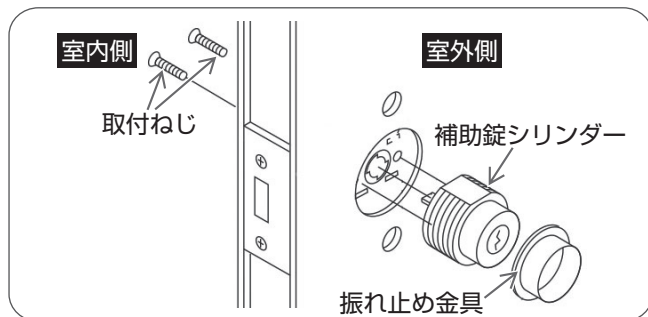
プラスドライバーで室内側ハンドルの止メねじをはずし、室内側ハンドルおよび室外側ハンドルをはずす。
※室内側ハンドルをはずすと室外側ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。
※室内側ハンドル・室外側ハンドル・止メねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

2 化粧座の取りはずし



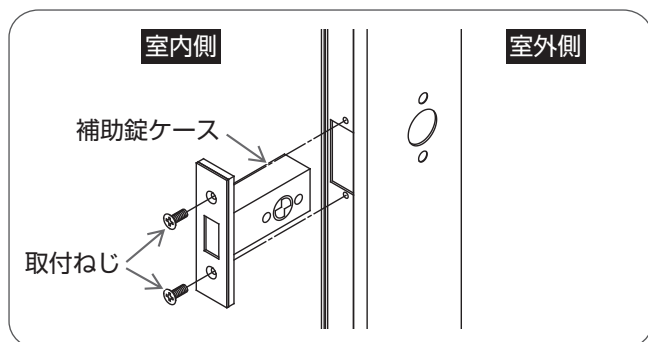
室内側からプラスドライバーで取付ねじをはずし、室内側化粧座および室外側化粧座をはずす。
※室内側化粧座をはずすと室外側化粧座がはずれます。落下にご注意ください。
※室内側化粧座・室外側化粧座・取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

3 補助錠シリンダーの取りはずし



室内側よりプラスドライバーで補助錠シリンダーの取付ねじをはずし、補助錠シリンダーをはずす。
※取付ねじをはずすとシリンダーがはずれます。落下にご注意ください。
※シリンダー・取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

4 補助錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで補助錠ケースの取付ねじをはずし、補助錠ケースをはずす。

※部品の取り付け方は3ページをご覧ください。

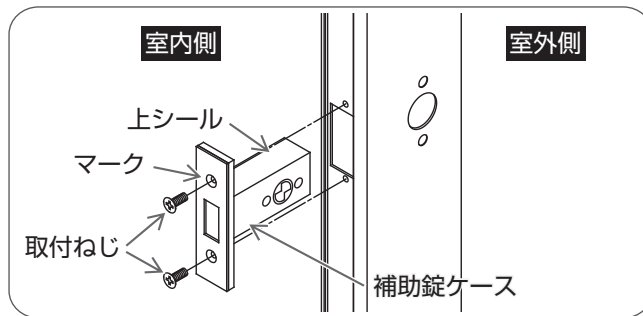
レバーハンドルタイプの取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

※レバーハンドルタイプは、化粧座一体タイプと別体タイプの2種類ありますが交換要領は共通です。ここでは化粧座一体タイプの図を使って説明します。

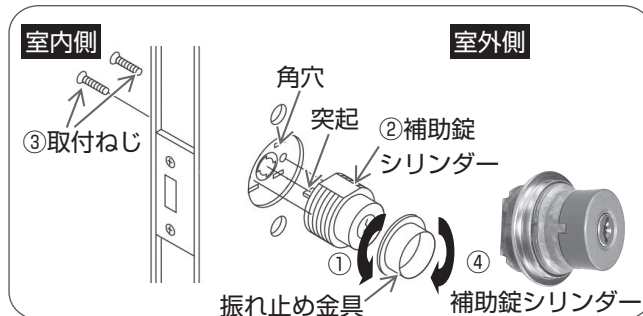
1 補助錠ケースの取り付け



錠ケースを取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

※フロントのマークもしくは「上」シールが上になるように差し込んでください。

2 補助錠シリンダーの取り付け



①シリンダーの振れ止め金具を反時計回りに回してゆるめる。

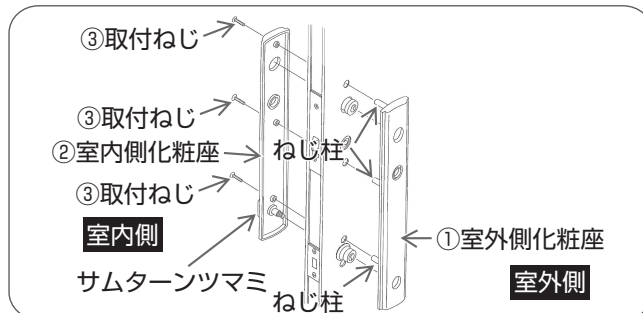
②室外側からシリンダーの突起(4ヶ所)と錠ケースの角穴を合わせるように差し込む。
※シリンダーのMIWAマークが上になるように取り付けてください。



③室内側からプラスドライバーで取付ねじをしめる。

④振れ止め金具をしめる。

3 化粧座の仮止め



①室外側より、室外側化粧座(ねじ柱付)を取付穴に差し込む。

②室内側より、室内側化粧座を外側化粧座に合わせてセットする。

※室内側化粧座を差し込む際、施錠状態とサムターンツマミの向きを合わせてください。

サムターンツマミの向き



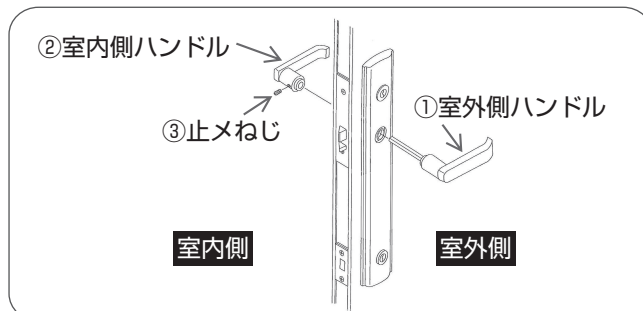
施錠時：横



解錠時：縦

③プラスドライバーで室内側化粧座の取付ねじを仮止めする。

4 レバーハンドルと化粧座の取り付け



①室外側より、室外側ハンドルを化粧座の角穴に合わせて差し込む。

②室内側ハンドルを室外側ハンドルの角軸に差し込む。

③プラスドライバーで室内側ハンドルの止めねじを仮止めする。

④ハンドルを数回作動させ、動きのよいところで化粧座の取付ねじおよび、ハンドルの止めねじをプラスドライバーでしめる。

※部品の取りはずし方は2ページをご覧ください。

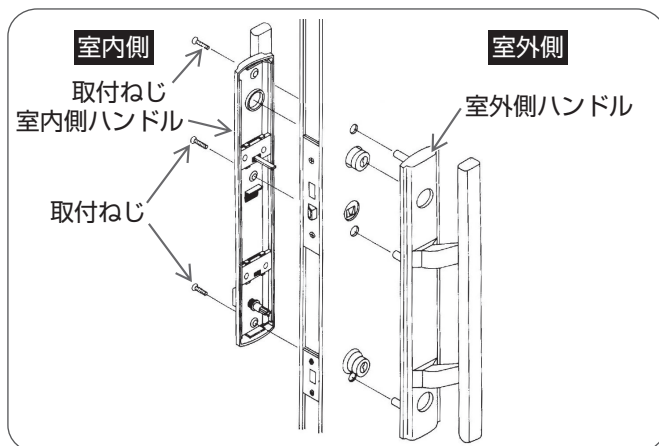
サムラッチハンドル・プッシュプルハンドルタイプの取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

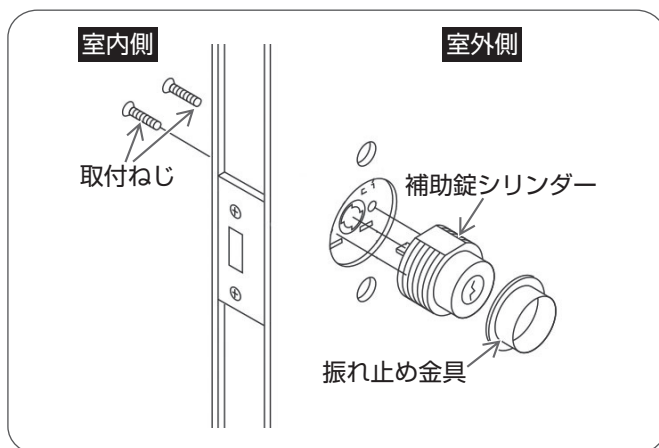
※サムラッチハンドルとプッシュプルハンドルタイプの交換要領は共通です。ここではプッシュプルハンドルタイプの図を使って説明します。

1 ハンドルの取りはずし



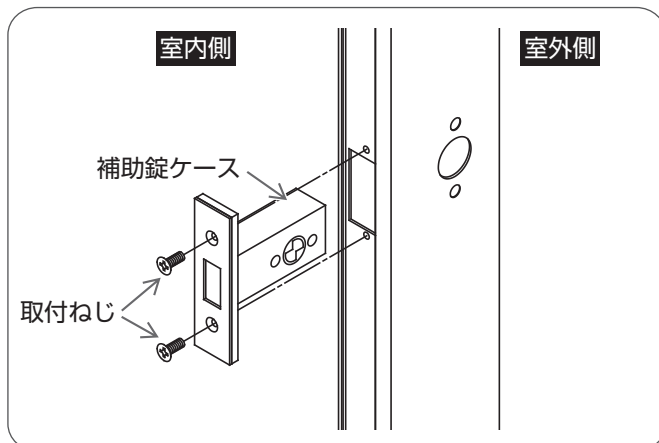
室内側よりプラスドライバーで室内側ハンドルの取付ねじをはずし、室内側ハンドルおよび室外側ハンドルをはずす。
※室内側ハンドルをはずすと室外側ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。
※室内側ハンドル・室外側ハンドル・取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

2 補助錠シリンダーの取りはずし



室内側よりプラスドライバーでシリンダーの取付ねじをはずし、シリンダーをはずす。
※取付ねじをはずすとシリンダーがはずれます。落下にご注意ください。
※シリンダー・取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

3 補助錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースをはずす。

※部品の取り付け方は5・6ページをご覧ください。

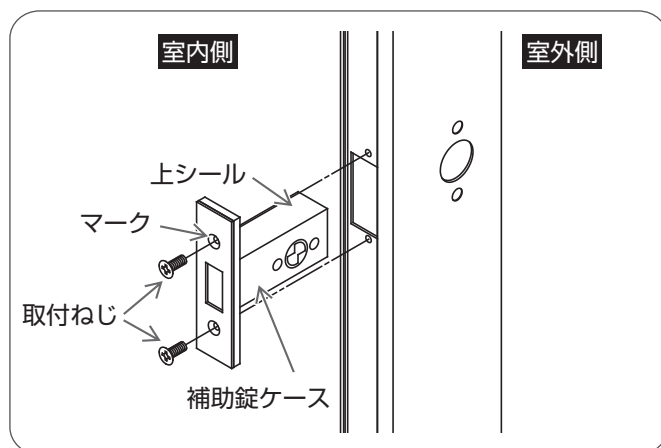
サムラッチハンドル・プッシュプルハンドルタイプの取り付け方(1)

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

※サムラッチハンドルとプッシュプルハンドルタイプの交換要領は共通です。ここではプッシュプルハンドルタイプの図を使って説明します。

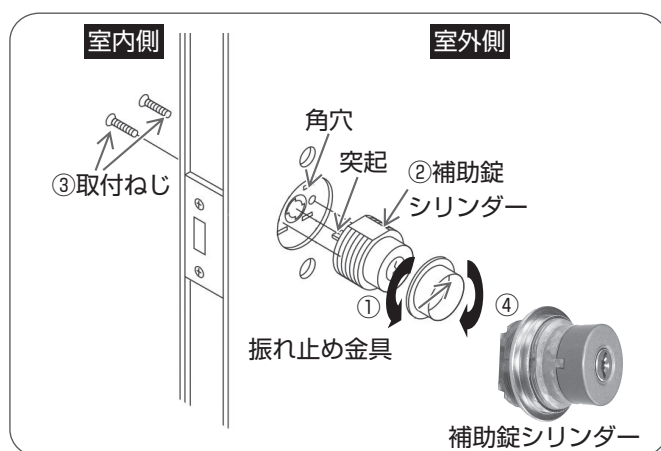
1 補助錠ケースの取り付け



錠ケースを取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

※フロントのマークもしくは「上」シールが上になるように差し込んでください。

2 補助錠シリンダーの取り付け



①シリンダーの振れ止め金具を反時計回りに回してゆるめる。

②室外側からシリンダーの突起(4ヶ所)と錠ケースの角穴を合わせるように差し込む。
※シリンダーのMIWAマークが上になるように取り付けてください。



③室内側からプラスドライバーで取付ねじをしめる。

④振れ止め金具をしめる。

※部品の取りはずし方は4ページをご覧ください。

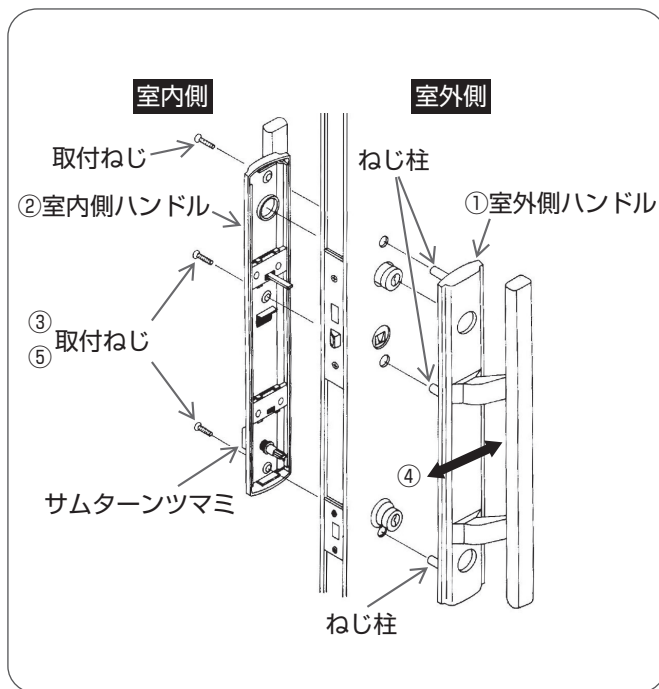
サムラッチハンドル・プッシュプルハンドルタイプの取り付け方 (2)

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

※サムラッチハンドルとプッシュプルハンドルタイプの交換要領は共通です。ここではプッシュプルハンドルタイプの図を使って説明します。

3 ハンドルの取り付け



- ① 室外側より室外側ハンドル(ねじ柱付)を取付穴に差し込む。
 - ② 室内側より室内側ハンドルを室外側ハンドルに合わせてセットする。
- ※室内側ハンドルを差し込む際、施錠状態とサムターンツマミの向きを合わせてください。

サムターンツマミの向き



施錠時：ヨコ



解錠時：タテ

- ③ プラスドライバーで室内側ハンドルの取付ねじを仮止めする。
- ④ ハンドルを操作し、ドアの開閉を確認する。
※ドアの開閉が悪い場合は、ハンドルの取り付けを左右に動かし、スムーズに作動するように調整してください。
- ⑤ プラスドライバーで室内側ハンドルの取付ねじをしめる。

※部品の取りはずし方は4ページをご覧ください。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ハンドルを動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

HH品番	取付ねじ		備考
	種類	本数	
HH-J-0075		2	※右図取付ねじ(短)も2本同梱されていますが、交換用には使用しません。 
HH-J-0082		2	※右図取付ねじ(短)も2本同梱されていますが、交換用には使用しません。 
HH-J-0084		2	
HH-J-0119		2	
HH-J-0135		2	
HH-J-0603		2	